

関係各位

一般社団法人 Arts and Sports for Everyone

代表理事 吉田 祐一

第4回楽球甲子園の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。障がい者の芸術とスポーツ活動を支援する、本団体では今年で4回目となる、レクリエーションボッチャ大会「楽球甲子園」を下記の通り開催することといたしました。昨年に引き続き、熊本県内の特別支援学校・学級の児童・生徒さんとスペシャルオリンピックスのアスリートを対象とした「チャレンジドの部」に加えて、障がいのある人とない人が一緒にチームを作って競技する「ユニファイドの部」も開催します。日頃、スポーツ大会に参加する機会の少ない特別支援学校・学級の児童生徒の皆さんにスポーツの楽しさを感じていただくと同時に生徒児童の皆さん同士、そして一般の方との交流の機会になれば幸いです。参加チーム数を制限するなど、COVID-19の感染防止には最大の配慮しております。ぜひご参加いただければ幸いです。

また、COVID-19の感染状況によっては大会を縮小あるいは中止する場合があります。詳細は要項の中に記載しております。

記

- | | |
|-----|---|
| 主 催 | 一般社団法人 Arts and Sports for Everyone |
| 共 催 | 熊本産業文化振興株式会社（グランメッセ熊本指定管理者） |
| 後 援 | 熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本県障害者スポーツ・文化協会、熊日文化スポーツ基金、SDGs Association 熊本、マスコミ各社 他（予定） |
| 協 賛 | アイシン九州、アイシン九州キャスティング |
| 協 力 | 熊本ボッチャ協会、熊本県障害者スポーツ指導者協議会 |
| 日 時 | 令和4年9月25日（日） 午前10時～16時（予定） |
| 場 所 | グランメッセ熊本 1F 展示ホール
〒861-2235 熊本県上益城郡益城町福富 1010 |
| 対象者 | <p><チャレンジドの部> 最大24チーム
熊本県内の特別支援学校・学級の児童生徒の皆さん（卒業生も含みます）、スペシャルオリンピックス日本・熊本のアスリートが参加できます。</p> <p><ユニファイドの部> 最大24チーム
一般の方と障がいをお持ちの方（障がい種は問いません）の混成チームであればどなたでも参加いただけます。</p> <p>どちらの部においても、もし申込チーム数が24を超えた場合、大会事務局で厳正に抽選をして参加チームを決定します。</p> |
| 参加費 | 1人500円（当日、受付にて徴収します） |
| 内 容 | <p><チャレンジドの部></p> <p>①受付（9時半） ②開会式（10時） ③個人戦（10時半～、団体戦のグループ分けの資料となります） ④昼食 ⑤団体戦（13時半～） ⑥閉会式・表彰式
参加チーム数次第では、団体戦を午前中から行うこともあります。</p> <p><ユニファイドの部></p> <p>①受付（12時半） ②開会式（13時） ③団体戦（13時半～） ④閉会式・表彰式</p> <p>チーム構成 <チャレンジドの部></p> <p>1チームを3人～4人で構成します。また、個人戦のみでの参加も可能です。団体戦は、個人戦の得点を参考にして、同じ技量のチーム同士で対戦できるように工夫します。障がいの種類や年齢に関係なく、グループ分けします。</p> |



<ユニファイドの部>

1チームを3人～4人で構成します。その中に必ず1人以上障がいをお持ちの方を含めてください。もし、参加したいけど一緒に参加してくれる障がいをお持ちの方を見つけられないという場合にはお問い合わせください。一緒に参加してくれる方をご紹介します。友達、職場の仲間、地域の仲間、家族でぜひボッチャを楽しんでください。

部 門 <チャレンジドの部> 正規コート（6m×12.5m）で行うチャンピオンシップの部とミニコート（4m×8m）で行うフレンドシップの部があります。

<ユニファイドの部> ミニコートの部のみです。

表 彰 個人戦は部門ごとの優勝者、団体戦は各ブロックの優勝チームに賞状と賞品を贈呈します。なお、参加いただいた方全員に参加賞があります。

ルール 別紙のようなルールで行います。

申 込 別紙申込用紙に必要事項を記入し、9月16日（金）までに ASE 事務局あてに FAX かメールで申し込んでください。

引 率 チャレンジドの部においては、チームごとに1名の引率者をお願いします。引率者は教員・保護者などチームのメンバーの障がいや健康状態をよくご存知の方をお願いします。チャレンジドの部において、チームのメンバーが小中学生のみの場合は1名の引率者をお願いします。

携行品 昼食（チャレンジドの部のみ）、飲み物、運動のできる服装で参加ください。

その他 ①会場にはエアコンが入っています。それを踏まえて体温調節のしやすい服装を準備してください。

②参加される方には保険をかけます。また、開催中は医師と看護師に詰めていただきます。

③床はコンクリートになっていますので、日頃練習されている体育館とはボールの転がりなど違うかもしれませんが、練習の時間も確保します。

④会場のレストランを利用することも可能です。

開催の判断基準

1週間前の時点で熊本県の感染リスクレベルが3以上の場合は中止します。2の場合、午前中にチャレンジドの部の団体戦と午後にユニファイドの部のみ開催します。1の場合、実施要項通りに開催します。

感染症対策について

①試合以外の場面では、控えスペースか展示ホールの外に出て待機してください。

②選手はマスク着用のうえ、試合前に手を消毒、試合後にも手を消毒することとします。審判・ボランティアはマスク・手袋を着用。観戦者もマスクを着用することとします。

③会場は換気を心がけ、コート間を広くとり、可能な限り接触を少なくします。

④当日も受付で体温を計測し、37度5分以上あったら参加を控えていただきます。

⑤同伴者・引率者も受付で体温を計測し、37度5分以上あったら、お帰りいただきます。

同伴者は選手1人つき最大2人までとします。

⑥同伴者、一般観覧者及び報道関係者については、受付にて氏名と連絡先を記入していただきます。

問い合わせ先

（一社）Arts and Sports for Everyone

TEL 090-5020-4462

FAX 096-382-7072

Email:yyoshida8049@yahoo.co.jp

大会ルール

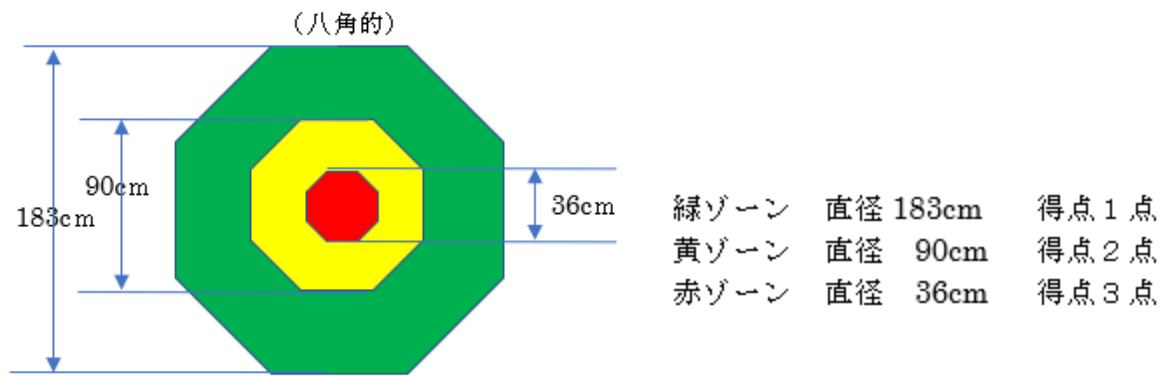
<チャレンジドの部>

(個人戦について)

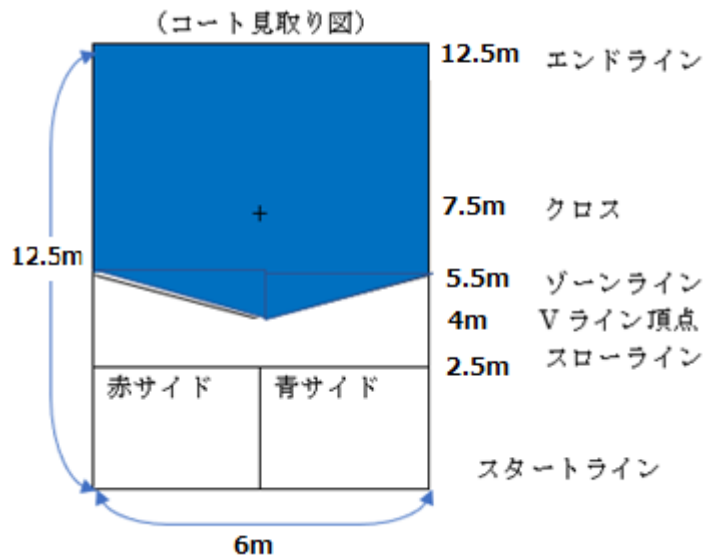
- 1 別紙に示す八角的を使います。八角的の中心はクロス（チャンピオンシップの部ではスローラインから5m、フレンドシップの部では4mの地点）に置きます。
- 2 持ち球は1人6球で、同じ投球者が6球連続して投げ、投げ終わった時点でのボールの位置により得点を決めます。それを2回繰り返し、合計得点をその投球者の得点とします。
- 3 個人戦は障がいの種類（身体、知的、重複）と年齢（小学部、中学部、高等部以上）によって部門に分けて順位を決定します。
- 4 試合の開始前に所属チームごとに3分間の練習時間を取ります。

(団体戦について)

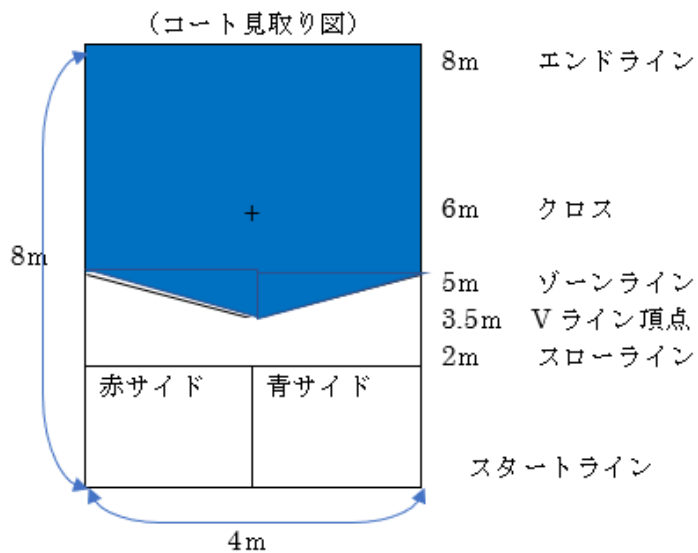
- 1 1チーム3～4人で構成される。エンド毎にメンバーや投げる順番を変えても良いが、全員が必ず1エンドは出場する。
- 2 1試合4エンドで行う。
- 3 1エンドで使うボールは6球で3人が2球ずつ投球する。
- 4 試合の開始時点で、代表者がジャンケンを行い、勝ったチームがサイド（赤：左側、青：右側）を選び、第1エンドのジャックボール（白いボール）を投げる権利は赤サイドを選んだチームが得る。以後、ジャックボールはチームが交互で投げる。ジャックボールもそれ以外のボールも、自チームのスローラインの後ろならどこから投げても構わない。
- 5 ジャックボールはゾーンラインより先の有効エリア（下コート見取り図青色部分参照）に投げなくてはならない。ここまで届かなかった、あるいはここから出た場合はジャックボールを投げる権利は相手チームに移る。それでも範囲外に出た場合、クロス（+）地点にジャックボールを置く。その際、最初にジャックボールを投げたチームから先にボールを投げる。
- 6 2投目以降はジャックボールに遠い方のチームが投げる。
- 7 投球者が投球の際に足あるいは車いすの車輪がスローラインに触れるあるいは踏み越した場合、そのボールはアウトボールとなる。
- 8 ジャックボールがコートの外に出た場合、クロス地点に戻します。
- 9 ボールがラインテープに触れた場合、アウトボールとみなします。
- 10 コートの広さはチャンピオンシップの部では正規コート（たて12.5m、よこ6m）、フレンドシップの部では正規コートのほぼ2/3（たて8m、よこ4m）の広さとし、下図のようなラインをテープで示す。なお、コートの外に出たボールはアウトボールで、得点には関係がない。
- 11 得点は相手チームよりもジャックボールに近いボールがいくつあるかで決める。もし、双方のチームの最もジャックボールに近いボールの距離が全く同じときは、双方にボール1つにつき1点を与える。1試合の総得点が多いチームを勝ちとする。同点の場合、引き分けとする。
- 12 順位は①勝ち数②総得点数で決める。
- 13 自力でボールを投げられない人は、補助具を使うことができ、また介助を受けることができますが、介助者はゲーム中コート内を見てはいけません。ボールを投球する際に、ランプの先はスローインラインより前に出てはならない。
- 14 試合の開始前に3分間の練習時間を取ります。
- 15 午前中の個人戦の得点をチームごとに合計し、チームの平均得点をもとに、障がいの種類や年齢に関係なく、同等の技量をもったチーム4～6チームを同じブロックとし、そのチーム間の総当たり戦（リーグ戦）を行います。



<チャンピオンシップの部>



<フレンドシップの部>



別紙1

チャレンジドの部 申込用紙

チーム名 () 部門 (チャンピオンシップ フレンドシップ) の部

役割	氏名	性別	学年 (年齢)	所属	連絡先 (携帯)
選手1					
選手2					
選手3					
選手4					
監督					
備考	個人戦のみご希望の方はこちらに○を書いてください。 ()				
その他	留意事項・要望事項などあればお書きください。				

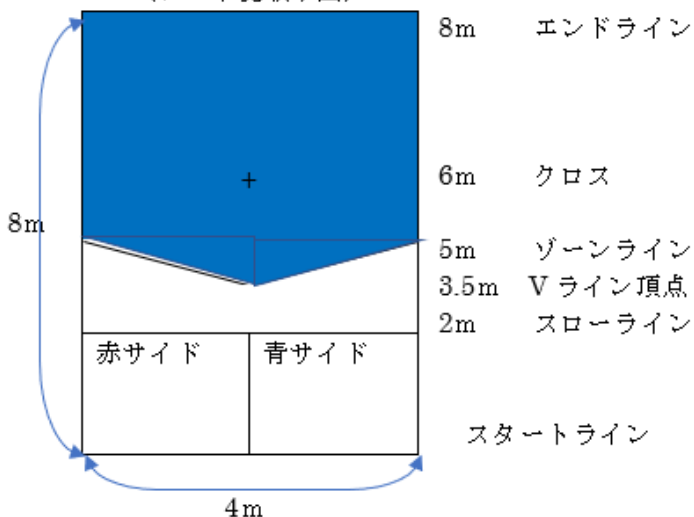
※部門についてはどちらかに○をおつけ下さい。

大会ルール

<ユニファイドの部>

- 1 1チーム3～4人で構成される。その中に必ず1人以上障がいをお持ちの方を含める。エンド毎にメンバーや投げる順番を変えても良いが、全員が必ず1エンドは出場し、すべてのエンドで障がいをお持ちの方が出場する。
- 2 1試合4エンドで行う。
- 3 1エンドで使うボールは6球で3人が2球ずつ投球する。
- 4 試合の開始時点で、代表者がジャンケンを行い、勝ったチームがサイド（赤：左側、青：右側）を選び、第1エンドのジャックボール（白いボール）を投げる権利は赤サイドを選んだチームが得る。以後、ジャックボールはチームが交互で投げる。ジャックボールもそれ以外のボールも、自チームのスローラインの後ろならどこから投げても構わない。
- 5 ジャックボールはゾーンラインより先の有効エリア（下コート見取り図青色部分参照）に投げなくてはならない。ここまで届かなかった、あるいはここから出た場合はジャックボールを投げる権利は相手チームに移る。それでも範囲外に出た場合、クロス（+）地点にジャックボールを置く。その際、最初にジャックボールを投げたチームから先にボールを投げる。
- 6 2投目以降はジャックボールに遠い方のチームが投げる。
- 7 投球者が投球の際に足あるいは車いすの車輪がスローラインに触れるあるいは踏み越した場合、そのボールはアウトボールとなる。
- 8 ジャックボールがコートの外に出た場合、クロス地点に戻します。
- 9 ボールがラインテープに触れた場合、アウトボールとみなします。
- 10 コートの広さは正規コートのほぼ2/3（たて8m、よこ4m）の広さとし、下図のようなラインをテープで示す。なお、コートの外に出たボールはアウトボールで、得点には関係がない。
- 11 得点は相手チームよりもジャックボールに近いボールがいくつあるかで決める。もし、双方のチームの最もジャックボールに近いボールの距離が全く同じときは、双方にボール1つにつき1点を与える。1試合の総得点が多いチームを勝ちとする。同点の場合、引き分けとする。
- 12 順位は①勝ち数②総得点数で決める。
- 13 自力でボールを投げられない人は、補助具を使うことができ、また介助を受けることができますが、介助者はゲーム中コート内を見てはいけません。ボールを投球する際に、ランプの先はスローインラインより前には出てはならない。
- 14 試合の開始前に3分間の練習時間を取ります。

(コート見取り図)



別紙2

ユニファイドの部 申込用紙

チーム名 ()

役割	氏名	性別	年齢	障がいの有無	所属	連絡先 (携帯)
選手1				有 ・ 無		
選手2				有 ・ 無		
選手3				有 ・ 無		
選手4				有 ・ 無		
引率者						
備考	*キャプテンの方のお名前を○で囲み、連絡先をお書きください。 *選手が全員小中学生である場合、引率者の氏名・所属・連絡先をお書きください。					
その他	留意事項・要望事項などあればお書きください。					